



# わくわく園だより

文責：牧野喜充

## … face to face … 今年度わくわく園のスローガン



北海道国立幼稚園・こども園協議会の役員をしていますが、今はほとんどリモート会議で、実際に札幌の役員と顔を合わすのは、年に2回ほどしかありません。ところが、リモート会議やメールでやり取りしているので、初対面でも「画面で見ると、お若く見えますね…」とすぐに会話ができます。「缶ビールより、生がいいですよ」と言った人がいて、最初は、画面越しの会議に抵抗感がありました。しかし、今ではリモートにすっかり慣れて、旅費もかからないし、この方がいいかもしれないと思うようになりました。

コドモンが普及定着して、こども園と保護者の皆さんとの連絡がスムーズで密になったように感じています。しかし、コミュニケーションの基本は、顔と顔を突き合わせて、相手の表情を見ながら話すことです。今日は、先生と何も話すことがないと思ったときは、「晩ご飯、何にしたらいい？」でも構いませんので、登降園時、先生と一言でも話をしてください。それがないと「先生、実はね…」という相談事がなかなかできません。

オレオレ詐欺の横行時、「昔は、親にお金を借りるときは、土下座をして懇願したものだ。それを電話やメールで済まそうとすること自体おかしい。」と言われました。大事な話は、今も昔も変わりありません。「face to face」です。だから家庭訪問があります。

## 園長先生は、何のお仕事しているの？



18日(木)の避難訓練の後、園児から「園長先生って、職員室で何してるの、みんなの前でお話するのが仕事なの？」と聞かれました。しかし、園長の仕事を子どもたちに分かりやすく説明するのは難しいものです。

### ～「みんなの命と安全を守る仕事をしています」～

避難訓練の時、最後にお話をします。お集まり会の時は、交通事故に気を付けてください。コロナやインフルエンザにかからないように注意してください。子どもたちだけでなく、先生方にも注意喚起をします。感染症で欠席者が増えると、臨休措置や学年閉鎖を検討して、最終的に決めるのが園長です。ですから、職員室に入って真っ先に見るのがホワイトボードの欠席欄です。

3月31日、退職を迎えた校長がこう言いました。「無事退職を向けることができなかった。在任中、不慮の事故で生徒が亡くなった。自分はこのことをずっと背負わないといけな。校長とは、生徒の命と安全を守るのが仕事だから…。」

園児から「園長先生の仕事は何？」と聞かれ、管理職としての責任の重さを改めて思い起こさせてくれました。今年度は、感染症で学級閉鎖や臨休がないことを願います。

玄関ホールの**五月人形**「どうして飾ってあるの？」と質問されました。

端午の節句は、男の子の元気な成長を願うお祝いの行事です。5月5日の「こどもの日」は、男子に限ってのお祝いという問題になります。強いものの象徴として、鎧兜の武者や金太郎、桃太郎や牛若丸や弁慶などの人物をモデルにした人形を飾り、無病息災を願うものです。なぜ、鯉のぼりなのか、柏餅なのか、コドモンでも書きましたが、子どもの「なぜ？」を大切に、それに答えてあげるのが親や先生の役目です。



### わくわく園の教育・保育指針の **にこにこ**・**きらきら**・**わくわく**

「わくわく」とは、しっかり考え、進んで取り組む子を目指しています。具体的には、好奇心旺盛な子、「見たい」「やってみよう」と意欲のある子、「はてな？」を発見して、自ら行動する子です。